

カナダの金融市場動向 Weekly Report

【2017年2月11日～2017年2月17日の推移】

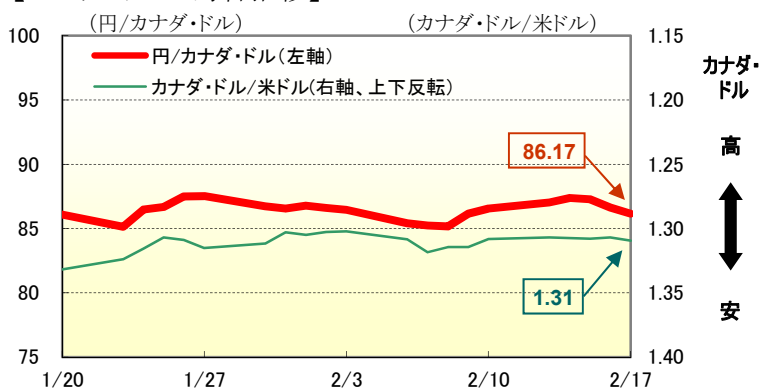
【1】先週の回顧

先週のカナダ・ドル円相場は下落した一方で、カナダ5年国債利回りは上昇しました。

週前半は米国のトランプ政権による経済成長への期待感が高まったことに加え、イエレンFRB(米国連邦準備制度理事会)議長が利上げに前向きな姿勢を示したことから、金利は上昇し、カナダ・ドル円相場も上昇しました。

しかし週後半にかけては、フランス大統領選挙に対する先行き不透明感から、市場のリスク回避姿勢が強まったことで金利は低下し、カナダ・ドル円相場は下落しました。

【カナダ・ドル 為替推移】 (2017年1月20日～2017年2月17日)



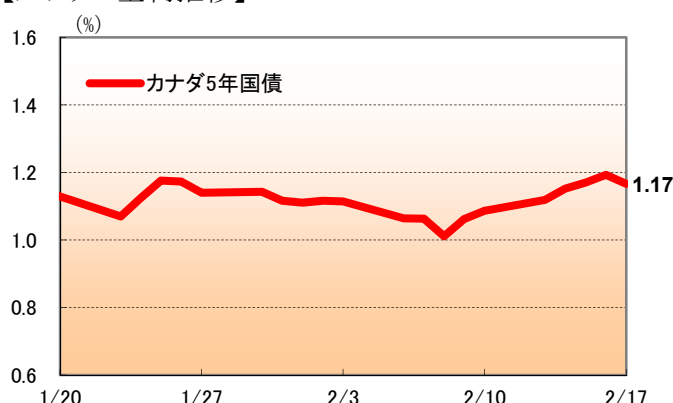
※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

【2】今週の見通し

今週は、カナダで小売売上高やCPI(消費者物価指数)などの経済指標が発表されます。これらが堅調な結果となればカナダ・ドル、金利の上昇要因になるとみられます。また、米加首脳会談で両国の貿易維持に向けた前向きな姿勢が確認され、NAFTA(北米自由貿易協定)見直しに伴う懸念が後退したことは、カナダ・ドル相場の安定化につながるとみています。

引き続き、トランプ大統領の政策動向やフランス大統領選挙に対する思惑に左右されやすい環境が続くと考えます。

【カナダ 金利推移】 (2017年1月20日～2017年2月17日)



【3】主要経済指標

発表日	発表頻度	期間	指標名	データ	(参考) 前回
2/22	毎月	2016年12月	小売売上高(前月比)	-	0.2%
2/24	毎月	2017年1月	消費者物価指数(前年同月比)	-	1.5%

(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託フリーダイヤル0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>